

～ 元気・本気・笑顔 で挑戦！ ～



朝陽五小だより

鶴岡市立朝陽第五小学校

令和6年6月30日

令和6年度 第3号

TEL22-0514 FAX22-0462

Email choyo5-e@school.city.tsuruoka.yamagata.jp

学校創立150周年に寄せて

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。

朝陽第五小学校は、今年度で学校創立150周年を迎えました。校舎改築も重なり、節目の1年となりますが、今回はその150年を駆け足で振り返ってみようと思います。

本校は、明治7（1874）年、鶴岡市の北部一帯を学区として、当時の大宝寺村に「移水学校」として創設されました。その後、明治12（1879）年に「東秀学校」と名前を改めました。現在のPTA広報のタイトルが『東秀』なのは、ここに由来するようです。明治20（1887）年には「大宝寺学校」となり、大正13（1924）年に鶴岡市行政施行に伴い「鶴岡市朝陽第五小学校」、そして昭和22（1947）年から「鶴岡市立朝陽第五小学校」となり現在に至っています。

今、私たちが過ごしている校舎（切添町）に移転したのが昭和41（1966）年のことでした。昭和49（1974）年には創立100周年を迎え、その年に小体育館も完成しました。

年号が平成に変わり、平成5年から7年にかけて、校舎や体育館の大規模改修が行われました。平成22（2010）年には、北校舎管理棟の再築工事が行われました。職員室や図書室のある棟が他の棟よりも新しいのはそのためです。平成26（2014）年に創立140周年を迎え、そして今年が創立150周年の年となります。

この間、JRCに加盟したり（今年度で加盟31年目）、山形県の「よい歯の学校優秀校」の表彰を受けたり、PTA新聞『東秀』や学校新聞が県のコンクールで特別な賞を受賞したり、文部科学省の指定を受けて英語学習を研究したり、鶴岡市の学童相撲大会で団体2連覇したりと、振り返ると素晴らしい足跡がたくさん残っています。本校で学んだたくさんの方々が創ってくださった伝統と歴史を感じずにはられません。

その歴史ある現校舎で過ごせるのも、残すところ1か月ほどとなりました。371名の子ども達と思い出を刻みながら、感謝の気持ちを持ちながら過ごして参りたいと思います。夏休み中の8月10日（土）には、現校舎の「お別れ内覧会」も予定しています。懐かしい校舎とのお別れに、ぜひ足をお運びください。

そして2学期からは、いよいよ新校舎での生活がスタートします。今からワクワクしていますが、新しい五小の伝統を創っていけるよう励んで参りますので、引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

文責：校長 岡部 貞二